

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	駒ヶ根市
----------	------

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	林道補修事業
事業費 1,914,000円 (うち支援金: 1,255,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

駒ヶ根市における森林面積は 12,477ha であり、総面積の 75% を占める。そのうち民有林面積は 9,111ha である。民有林の人工林面積は 4,743ha で、人工林率は 52% となっている。

(2) 本事業の目的

上記の現状と課題に対し、木材生産を進める森林における適正な林道管理により、計画的な森林施業の実施促進を支援する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 林道古城線・林道陣馬形線

(2) 対象者 駒ヶ根市

(3) 実施方法 公共補助林道事業の対象とならず維持管理及び補修事業でも実施できなかった林道古城線・陣馬形線の丸太柵の補修工事や排水施設の補修工事を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度) 総額 12,500 千円の事業計画により維持管理等を行う

②令和 3 年度実績 林道補修事業 古城線

丸太柵工 L=33.0m

ガードレール修繕工 L=8.0m

林道補修事業 陣馬形線

丸太柵工 L=14.0m

排水施設修繕工 L=27.0m



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

林道の維持管理及び補修を実施することにより、計画的な森林施業の実施促進が期待できる。

(2) 継続性

維持管理が適切に行なわれていない林道は災害等に脆弱である。例えば、降雨による路面洗堀や、落葉及び落石などによる水路閉塞等が引き金となり被災しやすい。また、復旧までに時間を要し本来の目的の達成が困難となることから、災害等を未然に防ぐ取組みとして事業効果の継続性を発揮できる。

(3) 普及性

林道は登山やトレッキングにも活用され、観光振興の観点からも重要である。また、民有林における人工林の搬出間伐を進めていく中で重要な位置づけであり、林道を基幹に作業道開設等も行なわれるため、多くの県民への恩恵が期待できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

アンケートの結果より、市民が安心して利用できる林道整備が引き続き必要である。また、自然素材のものを多く利用したことや路面整備を実施したことについて評価を得た。

(2) 課題

木材の加工場が少なくなっており、地域材の利用がしにくいということが課題。また、林道の路面整備が必要というアンケートの評価を得た。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)